

事務局ニュース

《事務局業務日・時間》月曜日～金曜日(土日・祭日休業)
午前 9:30～午後 3:30

No.266 2020年1月1日
NPO 法人富山県腎友会事務局
〒931-8443 富山市下飯野 70-4
TEL:076-407-5085
FAX:076-407-5086

発行責任者 中 秀晃
編集 坂田 祐美
定価 50円(会費に含む)

新年のご挨拶

会長 池田 充

新年あけましておめでとうございます。

昨年は平成から令和に元号も改まり、全国的にお祝いムードが広がりました。

しかし、相変わらず台風や水害等による災害が後を絶ちません。しかも昨年は、長野、新潟そして関東から東北と大規模災害が起きました。富山は幸い難を逃れましたが、明日は我が身、いつ何時私たちに降りかかるかもしれません。その時のため、対策を講じていただけるようこれからも行政や県議会等に申し入れを継続していきます。

また、少子高齢化が止まりません。全国の高齢化率は29%ぐらいですが、富山県はすでに30%を超えています。この結果、必然的に生産者人口の減少を招きます。今、後期高齢者医療の原則2割負担が検討されています。問題はそれだけでなく、私たちの医療費負担を1万円もしくは2万円に抑えている長期高額疾病の継続にも関わってきます。さらに医療だけでなく、介護にも影響を与えています。現在、介護サービスの自己負担は原則1割負担となっており、収入の多い一部の方が2割ないし3割を負担しています。この2割の範囲を広げようとする案が検討されています。これらの負担が増えることになれば、高齢透析患者にとって生活そのものが脅かされかねません。

富山県腎友会は今年設立50周年を迎えます。「いつでも、どこでも、誰もが安心して透析治療を受けることができる」を理念として活動してきました。これからもこの理念を守っていくためには、一人でも多くの患者さんが患者会の会員として、まとまった声を国や県・市町村に届けていかなければなりません。皆様のご協力を宜しく願います。

最後に皆様のご健康とご多幸を祈念しまして私のあいさついたします。



インフルエンザにご注意！

インフルエンザ流行のピークは1月から2月といわれており、ノロウイルスによる冬場の食中毒や感染症が流行するのもこの時期です。

日頃から「手洗い、うがいの徹底」「マスクの着用」「栄養、睡眠を十分にとる」など、感染予防を心がけてください。

また、発熱、おう吐、下痢などの症状がある場合は、透析へ行く前に必ず透析施設へ電話をするようにしましょう。



2020年度全腎協全国大会 in 福島

- 日時 令和2年5月17日(日) 9～14時(予定)
- 会場 ホテルハマツ「平安の間」
福島県郡山市虎丸町3番18号

※参加募集につきましては改めてご案内いたします

国会請願署名・募金について

毎年会員の皆様にご協力いただいている署名ならびに募金は、腎臓病患者の生活を守るためにとっても大切な活動です。

請願書をまだ提出されていない方は、1月中でも間に合いますので、よろしく願いいたします。

富山県内の透析患者数2,589人に

昨年6月28日から30日に横浜市で開催された、第64回日本透析医学会学術集会・総会の統計資料によりますと、2018年末現在の透析患者数は全国で339,841人(前年末より5,336人増)、そのうち富山県は2,589人(前年末より40人増)であることが分かりました。

本会では、年間を通じて会の組織率を割り出す際、この患者数を基準とし推定しています。昨年11月末現在では、会員数1,115人、組織率43%になります。

【2018年末 富山県の透析治療の形態別患者数】

血液透析 等					腹膜透析 等					計
血液透析 (HD)	血液透析濾過 (HDF)	血液濾過 (HF)	血液吸着透析	在宅血液透析	腹膜透析 (PD)	週1回のHD(F)等と併用	週2回のHD(F)等と併用	週3回のHD(F)等と併用	左記以外の併用	
1,875	589	0	14	3	93	13	0	2	0	2,589

※参考までに2017年末の患者数(富山県)

血液透析 等					腹膜透析 等					計
血液透析 (HD)	血液透析濾過 (HDF)	血液濾過 (HF)	血液吸着透析	在宅血液透析	腹膜透析 (PD)	週1回のHD(F)等と併用	週2回のHD(F)等と併用	週3回のHD(F)等と併用	左記以外の併用	
1,924	501	0	11	3	94	14	1	1	0	2,549

診療報酬改定に向けた動き

10月9日、中央社会保険医療協議会(中医協)において透析療法や移植医療に関する議論が行われ、次の4つが論点となりました。

- ① 新しい腎性貧血剤(飲み薬)の評価体系
- ② 腎移植を含む腎代替療法選択肢に関する情報提供についての評価
- ③ 腹膜透析患者が血液透析を併用している場合、他施設で血液透析ができるよう要件等の見直し
- ④ 経皮的シャント拡張術(PTA)・血栓除去等の評価の適正化

とりわけ、腹膜透析と血液透析の併用において、職場の都合により他施設で血液透析を行いたくとも受け入れ施設が見つけにくいなどという声が寄せられていたことから、要件の緩和が期待されます。また、PTAにおいては、現在3ヶ月に1回のみ算定制限があるため、シャントがつまりやすい患者から、PTAが受けにくいといった相談が寄せられており、柔軟な要件への見直しとなるか注目されます。具体的な改定項目および点数が明らかになり次第お知らせいたします。

第21回北越ブロック青年交流会

11月30日(土)～12月1日(日)、サンフォルテ(富山市)に青年層会員22名(新潟2名・石川3名・福井1名・愛知1名・富山15名)が集いました。

1日目は、「患者会活動について考える」をテーマに水本全腎協副会長の講演を通じて、患者会の歴史や意義、現状の課題を確認し、グループ討論では、患者会のあるべき姿と私たちの役割について検討しました。2日目は、ハウス食品(株)ご協力のもと、蛋白調整レトルトパウチ食品を活用した調理実習を行い、食事管理の重要性と手軽に実践できるレシピを学びました。



おくやみ

- 正村 生 殿 真生会富山病院 享年77歳
- 宮田 肇 殿 市立砺波総合病院 享年74歳
- 水落 純一 殿 個人会員 享年70歳
- 塚田 三明 殿 黒部市民病院 享年80歳
- 田村 幸雄 殿 個人会員 享年81歳
- 磯辺 勝行 殿 中村記念病院 享年76歳

謹んでご冥福をお祈り致します

今後の予定

- 北越ブロック青年部長会議 1/18 サンフォルテ
- 全腎協理事会 1/25～26 東京

